

静脩

SEI-SHU

特集

図書館によるキャリアサポート

CONTENTS

02: 図書館によるキャリアサポート

06: 「京都大学図書館機構将来構想」の改定をめぐって

08: 京都大学図書館統計

12: 図書館・室からのお知らせ

図書館によるキャリアサポート

今回の特集は京都大学の図書館・室によるキャリアサポートです。みなさんの思い描く進路は、就職？進学？『京都大学概要 2016』によると、平成 28 年 3 月学部卒業の進路は、就職 1/3、進学・その他が 2/3 ですが、学部によってその傾向は異なります。

就職活動支援だけに留まらない、各図書館・室の多様な取り組みをご紹介します。また、図書館・室以外の施設についても掲載していますので、併せてご覧ください。

吉田南総合図書館

「『進路・就職関連図書』コーナー」



みなさんには就職や公務員試験受験、あるいは大学院進学、海外への留学など、様々な進路が開かれています。吉田南総合図書館では、そのような多種多様な要望に幅広くお応えできるよう、キャリア形成や就職活動に役立つ図書、約 200 冊を集めた「進路・就職関連図書」コーナーを、1 階選書コーナーに設置しています。

就職活動の心構えや準備、業界研究関連図書や公務員試験対策図書といった就職活動に直結する図書、海外留学や大学院といった進学に関する本はもちろんですが、これから就職や進学を考える方々向けの、キャリアデザインや働くことそのもの考える図書など、学生のみなさんの進路決定に役立つ情報が掲載された図書を幅広く取り揃えています。また年度ごとに新版が発行される本は、できるだけタイムラグなく就活生が利用できるように、図書館職員が絶え

ず新刊情報をチェックして本棚に並べるよう心掛けています。全学共通科目を履修しているみなさんは、リクエストもできます（学生購入希望資料制度）。欲しい本が所蔵されていなかったら、ぜひ購入希望を出してください。

「進路・就職関連図書」コーナーの貸出状況を分析すると、就活シーズンに関わりなく、1 年を通じて多くの利用があります。特に人気の高い貸出ランキング上位の図書は、残念ながら書架に並んでいる時間よりも借り出されていることが多くあります。貸出中の図書は MyKULINE から予約して、現在借りている方の返却後に借り出すことも可能ですので、本棚に見当たらないからといって、諦めないでください。

吉田南総合図書館では、みなさんのご利用をお待ちしております。



医学図書館

「国試対策資料コーナー」

医学図書館 3 階の閲覧室に入ってすぐ左手には、背に**赤いシール*** が貼付されたテキスト類がずらりと並ぶコーナーがあります。この一角は毎年 2 月に実施される、医師国家試験の勉強に必須のテキストを集めたコーナーとして設けられました。ご存知の通り、医師免許を取得するためには、医学部を卒業し医師国家試験に合格しなければなりません。この試験には京都大学から毎年新卒者だけでも 100 名以上が受験します。医学部医学科の 1 学年の定員が 107 名ですから、医学科の 6 回生のほぼ 100% が受験する試験と言ってよいでしょう。

このコーナーには医師国家試験の過去問や解説、参考書といった「鮮度」の重要なテキストが並びます。図書館ではシリーズものは継続購入するなどして、みなさんが常に最新の情報で試験勉強に臨むことができるように心がけています。また、1 人でも多くの方にご利用いただけるように、このコーナーの大半は「禁帯出資料」として、館内のみでご利用いただいております。

医師国家試験は医学図書館にとっても大きなイベントです。試験が近づくと 6 回生のみなさんが、国試対策資料を使って図書館の閲覧室、学習室で、

朝早くから夜遅くまで試験勉強に臨む姿をお見かけするようになり、スタッフとしても「いよいよ始まるんだな」と実感するものです。

無事に国試に合格し、研修医や医員として医師への道を歩み始めた後でも、文献の入手や検索でお困りの場面があればいつでも図書館へご相談ください。医学図書館は医療に携わるあらゆる方をサポートできる図書館でありたいと思っています。

赤いシール*

「禁帯出」シールのこと。このシールが貼られた資料は基本的に館外への貸出を行っていません。



理学部中央図書室 / 農学部図書室

「『先生が語る！』シリーズ講習会」

理学部中央図書室は理学部生のための図書室ですが、大学院進学率が高いため、それに合わせた選書等、様々な活動を行っています。2011 年から農学部図書室と共催で企画・実施してきた「先生が語る！」シリーズ講習会もその一つ。両部局の先生方を講師にお迎えし、毎年違うテーマでお話していただく企画ですが、論文の書き方から英語でのアウトプット方法まで、自らの体験を踏まえた具体的な内容が好評を博しています。お話はもちろん、センスあふれるスライドも一見の価値あり！昨年度はお休みしましたが、今年度は再開す

る予定です。

現在、時代を超えた、そして時代に応じたお題を思案中。どうぞお楽しみに！

過去の講習会情報はこちら

→ <http://www2.sci.kyoto-u.ac.jp/lib/kosyukai.html>



附属図書館

「レクチャー・シリーズ」

「レクチャー・シリーズ」に参加したことはあるでしょうか？これは附属図書館のラーニング・コモンズの一画を会場に、京大の若手研究者をお招きして、ご自身の研究について語っていただくものです。ラーニング・コモンズのオープン直後、2015年5月に開催した第1回から、すでに16回を数えました。これまで取り上げられた分野は、考古学、文化人類学、建築学、情報学、宇宙物理学、生態学、分子生物学、医用工学などなど。京大の多様な研究を反映して、毎回、最新の研究を巡るユニークなお話が繰り広げられます。

さて、「レクチャー・シリーズ」は、みなさんに学びの場であるラーニング・コモンズに足を運んでいただき、そこで学問の魅力に触れ、また、研究者との出会いの場となることを願って開催しています。各回のレクチャーにおいて講師は、研究の道に入ったきっかけから取り組んでいる研究内容まで生き生きと語り、それに対して参加者からは、研究に関連した内容や研究生活についてなど、

様々な質問が投げかけられています。

「レクチャー・シリーズ」の開催予定は、図書館機構のニュースや図書館内のポスターでご案内します。進学を考えている方、研究の世界に興味のある方は、ぜひ一度参加してみてください。現在勉強している内容に関連したテーマの回も、今まで全く知らなかった分野の研究テーマを追求している講師のレクチャーも、研究への関心を深める鍵でいっぱいです。



附属図書館 / 教育学研究科

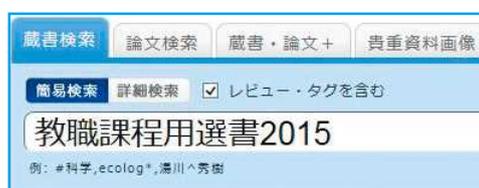
「教職課程用図書」

附属図書館では、教職課程を履修する学生のための資料を、毎年150冊程度購入しています。資料を必要とする学生がほぼ全学部にわたることから、利用のしやすさを考えて附属図書館に設置することとし、1975年頃から収集を続けてきました。

資料の選定は、教育方法分野の専門家である教育学研究科の教職担当教員が行っています。時代の流行やノウハウのみを示す、すぐに賞味期限切れになるものではなく、実践的かつ理論的な掘り下げのある研究的著作、あるいは、歴史性と普遍性を持っており、長く読み継がれると考えられる実践記録などを中心に収集しています。具体的には、教育学一般に関する原理的著作、教科教育分野の学位論文を刊行した著作、教育問題や実践的課題について深く洞察した実践書などです。みな

さんには、大学時代だからこそできること、すなわち、腰を落ち着けて、歯ごたえのある著作と格闘する経験を通して、現場に出てから伸びしろのある、研究的に学び続ける教師に育ってほしいと考えています。

資料はそれぞれの内容にそって分類した上で一般書架に配架されており、他の資料と同じように利用することができます。近年購入したものには「教職課程用選書 XXXX（購入年度）」というタグづけを行っていますので、KULINEで検索する際の助けにしてください。



この企画は、2015年11月に、院進学を考えている経済学部の学生（特に3回生）を対象として、2001年以降の学位論文の中から、「(出版された)学位論文」と「学位論文から生まれた図書」をリストアップし、併せて、大学院で研究を行うために必須のスキルであるアカデミック・ライティング関連の資料も展示することで、研究に対するイメージを膨らませやすくすることを意図しました。展示資料総数は147冊、できうる限りの広報やKULINEのタグ付け、図書には企画用の帯をかけ、「展示一覧」、「学位論文の探し方を説明する資料」及び「アンケート用紙」を図書とともに配置しました。

閲覧室内の一角（出入口付近）で行ったため、正確な閲覧者数は不明ですが、課程博士で学位を

取られた後も研究を進展させて出版に繋げておられる研究者もいらっしゃることや、経済学部で所蔵しているアカデミック・ライティングの図書も紹介ができましたので、少しは大学院での研究というものをイメージしてもらえたのではないかと思います。

今後も年1回のペースで企画展示を行うかどうかはわかりませんが、進学支援や所蔵資料活用の観点などから、今回の経験を活かし工夫していきたいと思っています。



学内には、キャリアサポートを行っている組織が複数あります。

ここでは、図書館・室以外で、キャリアに関する資料を利用できる施設をご紹介します。

●学生総合支援センター キャリアサポートルーム

- 学生の就職活動を支援するための資料が揃っています。就職関連図書などの貸出もしています。
- 吉田キャンパスのほか、桂キャンパスと宇治キャンパスにサテライトがあります。
- 貸出には、利用者登録が必要です。各室の開室時間などの詳細は、キャリアサポートルームのウェブページをご覧ください。
- <http://www.gssc.kyoto-u.ac.jp/career/info/information/>



●男女共同参画推進センター

- 男女共同参画の観点から女性のキャリアなどに関する図書があります。貸出もしています。
- 開室時間は、午前9時～午後5時（月曜日～金曜日）です。利用については、男女共同参画推進センターのウェブページをご覧ください。
- <http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/shisetsu/book.html>



「京都大学図書館機構将来構想」の改定をめぐって

図書館機構長 引原 隆士

京都大学図書館機構は、2016年2月に「京都大学図書館機構将来構想」（以下、「将来構想」）の改定版を策定しました。次に今回の改定の背景と目指すところをお伝えします。

図書館機構とは

京都大学では、附属図書館と各部局（学部、研究科、研究所など）の図書館・室が、それぞれの特長を活かしながら、図書館ネットワークを形成しています。そのネットワークが図書館機構であり、個々の図書館・室が独自の個性的なサービスを展開するとともに、互いに連携して学術情報基盤や全学的サービスの充実向上を図っています。

最初の「将来構想」による実績

図書館機構は、2009（平成21）年12月におおよそ10年間の事業目標を明らかにするため、「京都大学図書館機構将来構想」を策定しました。当時は学術情報の電子化が急速に進展し、大学図書館の役割が大きく変化しようとしていた時期であり、また資料購入費や書庫の不足、図書館職員数の減少など、図書館の不安材料が増大した時期でもありました。こうした課題を解決し、京都大学の学術情報基盤を計画的に強化充実するために将来構想が作られました。図書館機構は、最初の将来構想の実現を目指して、2010（平成22）年度から2014（平成26）年度までさまざまな活動を行ってきました。例えば、資料の電子化や購入費の不足に対応するため、電子ジャーナルの経費負担方式を見直して財源の安定的確保に努め、オープンアクセス方針の採択や学術情報リポジトリ（KURENAI）の充実により研究成果の電子的公開を推進しました。また、資料の目録遡及入力事業（KULINE から検索できる図書データの登録）や貴重資料の修復事業に図書館機構として取り組み、全学的な蔵書の利活用基盤を整備しました。別の図書館が所蔵する図書や文献コピーの取寄せができたり、複数図書館が共同して利用者からの質問に回答したりする体制を整えて、図書館・室の使い易さを高めるなど、図書館連携によるサービス向上も着実に実現してきました。

「将来構想」改定の経緯

将来構想策定から5年が経過した2015（平成27）年2月に、図書館機構は、想定された期間（10年間）の中間地点での将来構想の検証と見直しを行うこととし、2015（平成27）年度中に将来構想を改定することを決めました。改定にあたっては、最初の将来構想で提案された基本目標、事業目標がどこまで達成できており、どのような事項が未達成となっているかを明らかにするとともに、5年前と比べて大学図書館をめぐる環境がどのように変化したのかを確認することにより、未達成の課題や新たな課題を解決できる将来構想に改めることを目指しました。さまざまな検証の結果、図書館ネットワークの中での専門図書館、エリア連携図書館、総合図書館という図書館・室の役割分担が十分に整備できていないこと、図書館機構が図書館職員数を調整する機能を確保できていないこと、これまで5年間の努力によっても資料購入費や書庫の不足への全学的対応が十分実現できていないことなどの未達成の事項が明らかになりました。また、世界の大学図書館の潮流として、アクティブラーニングや研

究成果のオープンアクセス化への積極的な支援が求められています。さらに、京都大学においては、全学の図書館・室が役割を分担の上、図書館機構として一体的に機能することへの期待があることなどの、新たな課題がわかりました。こうした課題を解決するため、2016（平成 28）年からおよそ 4 年間の基本目標・事業目標を明らかにし、2019（平成 31）年度までの図書館機構の方向性を示す改定版将来構想を、2016（平成 28）年 2 月に策定しました。

改定版「将来構想」の目標

これまで述べたように、今回行ったのは将来構想の改定であり、これまでの目標を引き継ぎつつ、新たな事項の追加を実施したものです。そのため、これまでの図書館・室のサービスや資料、施設のあり方ががらりと変わってしまうことはありません。これまでの実績に基づき、全学の図書館・室が独自性を維持しながら、図書館ネットワークとして相互に連携し、世界最高水準の研究拠点に相応しい学術情報基盤を強化充実する取組みをさらに発展させていきます。例えば、電子ジャーナル等の学術情報を適切に提供し、蔵書の保存機能を十分備えた安全快適な施設の整備を進め、先進的で高度なサービスを研究開発し、これらを実現できる次世代の図書館職員を育成する活動を強化充実します。それに加えて、教養・共通教育から学部専門教育に到る学修・教育用図書、ラーニングコモンズ、レファレンスサービス、情報リテラシー教育等の整備充実を通じた学修・教育支援活動を全学的に展開するとともに、オープンアクセスの推進等による研究支援活動を積極的に進めていきます。

図書館機構のこれから

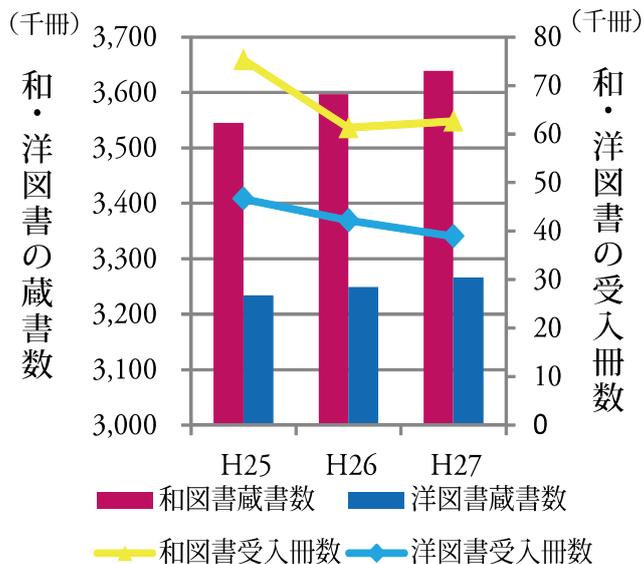
改定した将来構想では、図書館ネットワークとしての図書館機構のあり方を表す概念図を刷新し、エリア連携図書館が分担する図書館の全学機能の例を示しました。今後、複数の図書館が、それぞれの機能を活かした連携を強め、全学図書館機能を担うことにより、エリア連携図書館としての位置を明確にすることになります。すでに複数の図書館で業務共同化が実施されており、また、現在この構想に基づいて、新図書館の建設や既存図書館の増改築など複数の図書館計画が策定され、実現に向けての検討が進められています。図書館機構は、こうした全学の図書館・室の動きと歩みを共にしながら、京都大学の教育・研究・社会貢献を支える基盤的組織としての役割を果たすことができるよう、図書館ネットワークを一層充実させる努力を続けていきたいと考えています。これからの 4 年間にもこれまで以上に激しい社会環境の変化が起こることが予想されますが、図書館機構はこれからも変化に柔軟に対応し、戦略的に機能を見直しつつ、自らの目指すものを新しい将来構想として明らかにしていきます。

「京都大学図書館機構将来構想」 <http://hdl.handle.net/2433/208997>

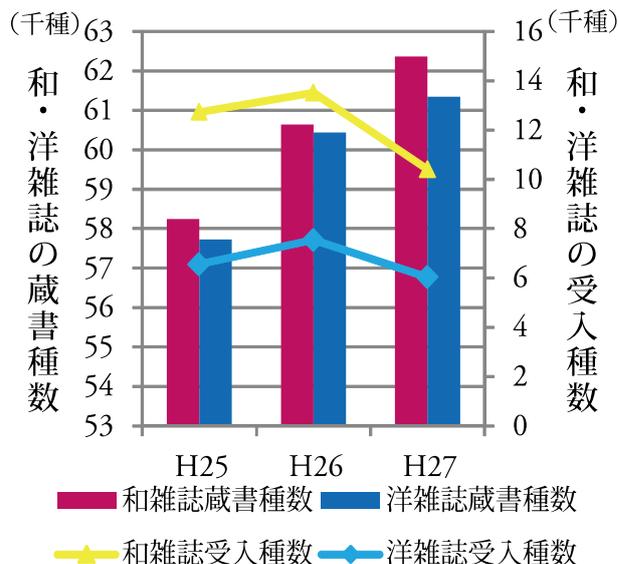


京都大学図書館統計

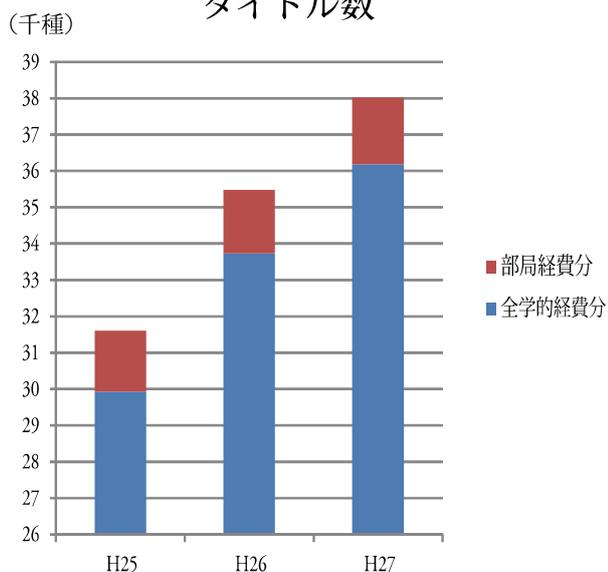
和・洋図書の蔵書数と受入冊数



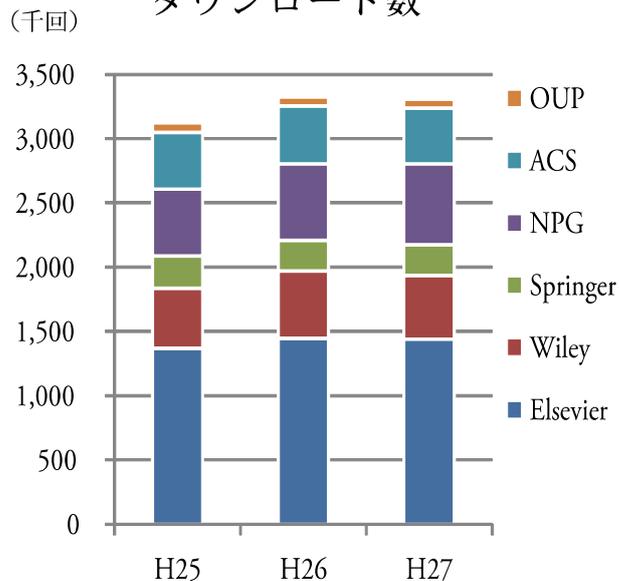
和・洋雑誌の蔵書種数と受入種数



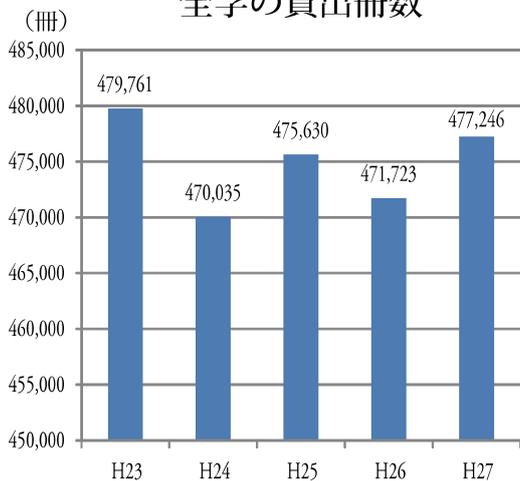
電子ジャーナル（外国雑誌：有料） タイトル数



主要電子ジャーナルの ダウンロード数

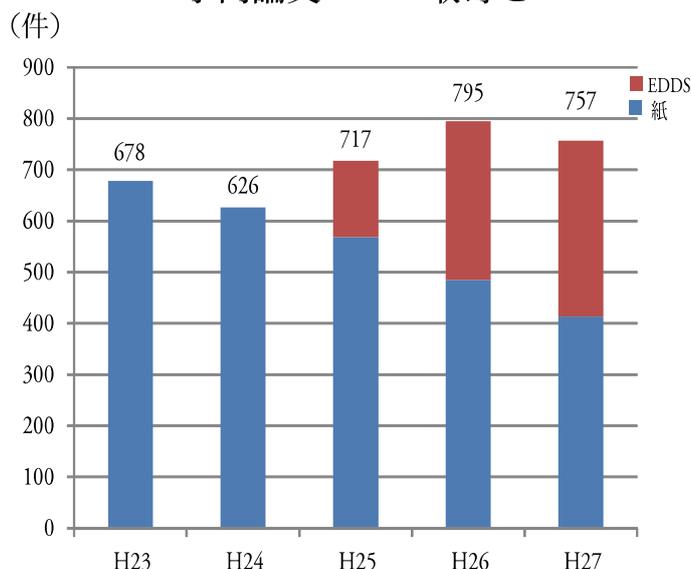


全学の貸出冊数



主な図書館・室の貸出冊数					
	H23	H24	H25	H26	H27
附属図書館	190,169	172,296	169,777	164,557	170,446
吉田南総合図書館	78,785	87,245	88,413	92,394	91,766
文学研究科	72,600	69,808	71,609	70,621	68,773
教育学研究科	10,119	11,683	12,616	13,033	12,951
法学研究科	16,709	14,264	15,725	16,327	17,484
経済学研究科	16,041	16,152	18,563	17,494	15,145
理学研究科	24,680	26,604	27,408	27,408	29,031
医学研究科	7,823	7,510	7,036	6,939	7,117
薬学研究科	1,468	1,594	1,363	1,291	1,062
工学研究科	13,774	15,194	15,350	16,163	16,250
農学研究科	10,660	14,572	13,336	13,302	12,416
合計	442,828	436,922	441,196	439,529	442,441
全学合計	479,761	470,035	475,630	476,284	477,246

学内論文コピー取寄せ

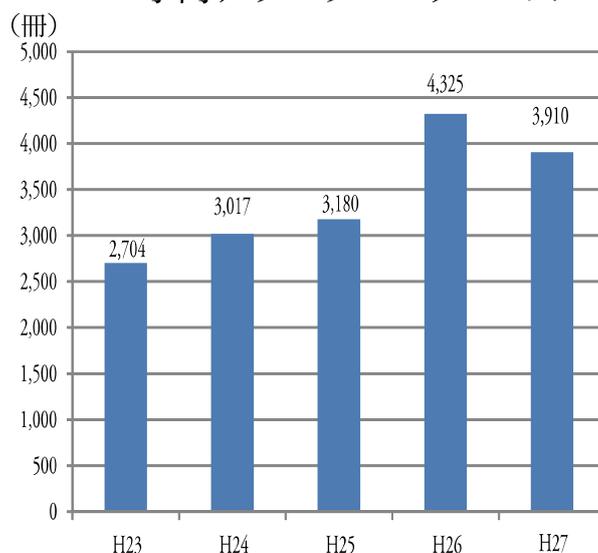


「EDDS(Electronic Document Delivery Service)」とは？

学内の離れたキャンパスにある文献（論文など）を学内の研究室や OSL のパソコンなどで読むことができるサービスです。

注）公費（運営費のみ）で文献複写料金のお支払いができる方に限ります。

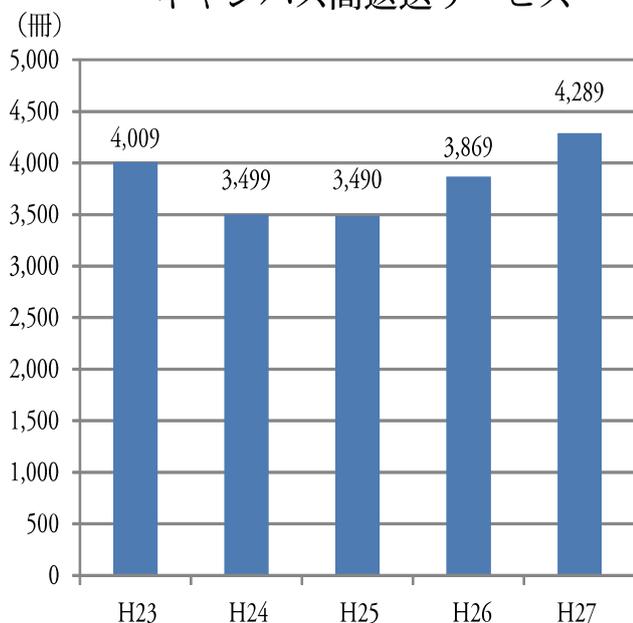
学内デリバリー・サービス



「学内デリバリー・サービス」とは？

希望の図書が学内の遠隔地キャンパスなどに所蔵されている場合、所属部局の図書館・室へ取り寄せることができるサービスです。

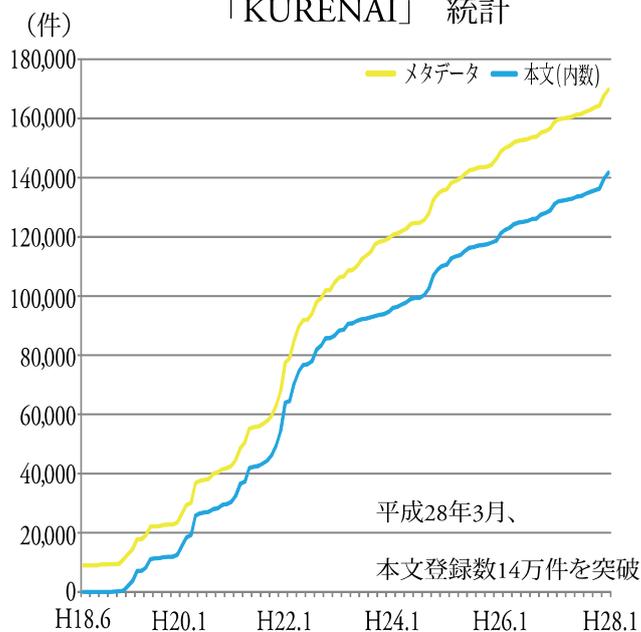
キャンパス間返送サービス



「キャンパス間返送サービス」とは？

学内の別のキャンパスの図書館・室で借った図書を、最寄りの図書館・室でも返却することができるサービスです。

京都大学学術情報リポジトリ「KURENAI」統計



「KURENAI」とは？

京都大学で日々創造される研究・教育成果（学術雑誌掲載論文、学位論文、紀要論文など）をWEB上で公開しているプラットフォームです。

平成 27 年度統計

図書館・室	受入冊数			蔵書冊数			目録情報入力冊数累計		
	和書	洋書	計	和書	洋書	計	和書	洋書	計
附属図書館	10,133	1,832	11,965	677,727	266,893	944,620	578,742	251,313	830,055
附属図書館宇治分館	608	1,021	1,629	13,911	57,713	71,624	13,516	56,888	70,404
吉田南総合図書館	15,295	1,933	17,228	385,041	298,763	683,804	379,278	296,957	676,235
文学研究科	9,942	4,830	14,772	676,433	435,563	1,111,996	569,164	426,595	995,759
教育学研究科	1,325	828	2,153	109,963	73,194	183,157	109,203	72,401	181,604
法学研究科	3,781	4,796	8,577	317,627	410,821	728,448	287,439	378,430	665,869
経済学研究科	2,548	1,936	4,484	308,219	270,532	578,751	301,465	282,202	583,667
理学研究科	1,819	2,966	4,785	57,521	190,312	247,833	52,160	197,012	249,172
医学研究科	1,615	1,520	3,135	74,813	148,958	223,771	96,056	151,445	247,501
医・人間健康科学系	447	52	499	21,821	4,446	26,267			
薬学研究科	106	21	127	11,916	22,353	34,269	12,047	22,311	34,358
工学研究科	2,306	1,142	3,448	137,716	187,347	325,063	137,854	188,555	326,409
農学研究科	3,255	877	4,132	142,553	119,070	261,623	142,905	121,214	264,119
エネルギー科学研究科	87	36	123	4,931	5,512	10,443	4,894	5,540	10,434
アジア・アフリカ地域研究研究科	158	1,772	1,930	21,804	114,109	135,913	15,179	121,493	136,672
情報学研究科	420	252	672	18,099	39,193	57,292	18,003	39,120	57,123
地球環境学堂・学舎	139	203	342	6,039	3,859	9,898	5,711	3,661	9,372
人文科学研究所	5,311	1,971	7,282	516,878	93,706	610,584	291,212	91,202	382,414
再生医科学研究所				390	4,107	4,497	82	284	366
基礎物理学研究所	56	503	559	9,787	81,037	90,824	9,484	81,338	90,822
経済研究所	186	478	664	40,801	41,189	81,990	40,803	41,186	81,989
数理解析研究所	9	1,365	1,374	7,719	93,765	101,484	7,669	93,386	101,055
原子炉実験所	178	202	380	16,185	38,017	54,202	16,206	37,980	54,186
霊長類研究所	412	252	664	9,451	18,470	27,921	9,459	18,462	27,921
東南アジア研究所	438	3,927	4,365	29,770	164,531	194,301	28,254	154,845	183,099
生態学研究センター	409	104	513	9,644	7,181	16,825	9,641	7,220	16,861
地域研究統合情報センター	431	2,471	2,902	7,190	52,208	59,398	12,283	45,522	57,805
フィールド科学教育研究センター	94	5	99	11,967	4,000	15,967	9,139	8,099	17,238
(上段：森林系、下段：瀬戸臨海)	0	7	7	869	4,622	5,491			
計	61,508	37,302	98,810	3,646,785	3,251,471	6,898,256	3,157,848	3,194,661	6,352,509
目録情報入力冊数割合							86.6%	98.3%	92.1%

(注) 附属図書館宇治分館は、化学研究所・エネルギー理工学研究所・生存圏研究所・防災研究所の蔵書数等を含めた数。
 吉田南総合図書館は、人間・環境学研究科・高等教育研究開発推進センター・総合生存学館・国際高等教育院・物質・細胞統合システム拠点の蔵書数等を含めた数。

図書館・室	受入雑誌種数			開館日数	入館者数	貸出総数	相互利用			
	総計	うち購入 和雑誌種数	うち購入 外国雑誌種数				現物借用	複写取寄せ	現物貸出	複写提供
附属図書館	1,646	306	422	342	1,018,310	170,446	921	1,614	865	2,783
附属図書館宇治分館	238	64	72	235	13,019	1,874	24	57	7	344
吉田南総合図書館	883	242	165	265	229,323	91,766	601	1,133	663	413
文学研究科	2,446	195	780	222		68,773	115	122	541	1,164
教育学研究科	622	84	77	227	15,930	12,951	28	49	45	392
法学研究科	1,109	185	502	266		17,484	31	47		
経済学研究科	1,039	103	184	264	49,157	15,145	14	27		
理学研究科	1,172	92	134	237	70,152	29,031	23	63	0	0
医学研究科	634	66	92	287	59,422	7,117	42	1,072	8	2,754
医・人間健康科学系	181	38	34	218		7,747				
薬学研究科	26	9	0	235	14,126	1,062	0	26	0	84
工学研究科	901	336	153	232	27,577	16,250	54	128	1	128
農学研究科	1,746	511	116	235	63,493	12,416	91	224	169	390
エネルギー科学研究科	58	16	11	237	1,398	305	4	5	0	0
アジア・アフリカ地域研究研究科	26	12	12	219	1,435	2,944	292	108	35	6
情報学研究科	72	38	28	239	10,577	6,219	0	17	0	3
地球環境学堂・学舎	37	33	4	227	2,511	907	9	29	28	14
人文科学研究科	1,504	90	332	214	5,025	5,056	156	161	0	445
再生医科学研究科	0	0	0	239						
基礎物理学研究所	58	12	25	239	1,222	2,018	0	0	11	53
経済研究所	599	114	249	228	8,415	784	0	240	10	57
数理解析研究所	463	22	298	231		1,650	1	7	4	56
原子炉実験所	102	25	14	237	2,275	593	127	49	54	146
霊長類研究所	127	5	5	239		447	10	14	8	43
東南アジア研究所	338	2	45	230	2,306	3,696	24	20	86	29
生態学研究センター		3	9	221		185	9	20	0	
地域研究統合情報センター	38	0	0	210	475	174	6	5	34	4
フィールド科学教育研究センター	162	41	1	48	154	206				
(上段：森林系、下段：瀬戸臨海)	205	2	6	225			8	14	4	40
計					1,596,302	477,246	2,590	5,251	2,573	9,348

目録情報入力された資料は KULINE で検索することができます。
空値はサービスを行っていない等の理由によります。
附属図書館の入館者数は、平成 26 年度から学習室 24 の入室者数を含めています。



図書館・室からのお知らせ

■図書館・室の催しをまとめてチェック！「講習会・イベントカレンダー」のご案内

各図書館・室では、資料収集やデータベース利用などの講習会をはじめ、図書展示、講演会などのイベントを随時行っています。「講習会・イベントカレンダー」は、毎月初めに、図書館機構ウェブサイトのニュース欄に掲載されます。いつ、どこで、どんなイベントが開催されるかを一覧できる冊子ですので、ぜひご活用ください。

■附属図書館の月末休館日を臨時に開館します

附属図書館は、試験期間以外の月末を定例休館日としていましたが、今年度は次の日程で、試行開館します。学習室 24 も開室します。どうぞご利用ください。

平成 28 年 6 月 30 日(木)、9 月 30 日(金)、10 月 31 日(月)、11 月 30 日(水)、12 月 28 日(水)
※17 時閉館、平成 29 年 3 月 31 日(金)

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/bulletin/1371087>



■オープンアクセス方針説明会を開催しました

京都大学は、2015 年 4 月 28 日に「京都大学オープンアクセス方針」を採択しました。6 月に開催した説明会では、引原図書館機構長から「京都大学オープンアクセス方針」の理念をご説明するとともに、KURENAI への登録手順やリポジトリ登録システムについてのご案内を行いました。なお、オープンアクセス方針についてのよくあるご質問は、次にまとめてあります。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/content/1370442>



■図書館機構報「静脩」読者アンケートにご協力ください

「静脩」の誌面をより充実させるため、毎号の誌面を対象に、読者アンケートを行っています。アンケートにご回答いただいた方には、もれなく「静脩」オリジナルの PC 用壁紙・ブックカバー（文庫・新書用）をプレゼントします。みなさんのご意見・ご要望をお待ちしています。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/bulletin/11774>



京都大学図書館機構報「静脩」(ISSN 0582-4478)

Vol. 53 No. 2 (通巻 190 号) 2016 年 07 月 31 日発行

編集:「静脩」編集小委員会(責任者:附属図書館事務部長)

発行:京都大学図書館機構

京都府京都市左京区吉田本町 36-1

TEL 075-753-2613

URL <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp>

表紙題字:附属図書館所蔵 西園寺公望公揮毫

今月の表紙

附属図書館前の駐輪スペースを 3 階メディア・コモンズから見下ろしました。自転車の数と人の流れが図書館の賑わいを教えてくれる、ちょっと良い光景です。

